

◆大道芸を彩る！—出演者を輝かせる第一歩—

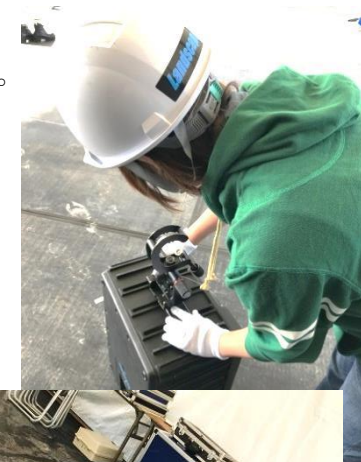
映像・音響デザイン学科 担当教員 五味 正太郎

今年も、静岡市の一大イベント「大道芸ワールドカップ」が開催されました(11月3日～6日)。「25周年」、そして過去最大規模での開催で、4日間という例年より長い期間、世界各国から108組のアーティストが参加し、パフォーマンスを競いました。

その大イベントに、本年度も、映像・音響デザイン学科の学生がボランティアとして参加させていただきました！学生たちは11月1日に、メイン会場として駿府公園に設営される「プレミアムステージ」で音響設備の設営を手伝いました。学校では学ぶことの出来ない、実践的な技術を目の当たりにするとともに、現場で説明をしていただくことで、これまで学んできたことへの理解を深めることもできました。

この経験を糧に、自分の夢に向かって走り続け、掴み取ることができるように、今後も様々な経験を積んでいってほしいと思います。

これからも皆さんの力で中村学園を、そして地域を、盛り上げていきましょう！



<第2面へ続く>



12月の行事



- 1日(木) 3TW「第6期実習」(～12/25)
- 3日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00
ビジネス文書検定 ☆託児所：あり
- 4日(日) B検
- 5日(月) 1CP「保育実習Ⅰ」(保育所) 事前研修
- 8日(木) MIS「卒研発表会」
- 9日(金) オープンキャンパス 17:00-18:30
- 14日(水) 福祉2年「海外研修修学旅行」(～12/18)
- 15日(木) J検定(CBT)
- 17日(土) 第3回入学選考 ☆託児所：あり
- 22日(木) 防災訓練・大掃除(PM)
- 23日(金) 天皇誕生日
- 28日(水) 仕事納め



1月の行事



- 1日(日) 元旦
- 5日(木) 仕事始め
- 6日(金) 後期再開
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 2CP「保育実習Ⅱ」(保育所) (～1/23)
- 16日(月) 1TW・CW「第1期実習」(～1/27)
- 21日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00
- 23日(月) 1CP 「保育実習Ⅰ」(保育所) (～2/4)
- 26日(木) J検定(CBT)



★平成29年度学生募集！

「後期AO入学選考エントリー」受付中！！

企画広報室 高橋 達也

今年も残すところ1か月。就職活動、実習等でみなさん忙しく過ごしているかと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすいので体調管理に気を付けながら、悔いのないように生活しましょう。

さて、皆さんの後輩になる来年度の入学者が、続々と決定しています。また、11月21日(月)からは「後期AO入学選考」のエントリーも開始しました。皆さんの中にもAO入学選考に挑戦し、合格を勝ち取った方も多くいるはずです。高校の後輩や兄弟姉妹等で電子情報系統や福祉医療系統を希望している方がいましたら、まず、オープンキャンパスへの参加、そして、後期AO入学選考を勧めてみてください！

来年度の入学予定者の中にも、オープンキャンパス等で在学生の皆さんと触れ合い、「この先輩のように、楽しく充実した学校生活を送りたい！」と希望をもった方が多くいます。高校生にとって、年代の近い皆さんの話は、進路の検討にあたりとても参考になっています。さらに皆さんの後輩が増え、中村学園が今以上に盛り上がってくれることを願い、12月以降も「オープンキャンパス」を開催します。

皆さんが今こうして中村学園で活躍できるのは、ご自身の努力や、ご家族の応援、そして、学校を盛り上げ続けてくれた先輩方のおかげでもあります。皆さんが『建学の精神』『校訓』『教育方針』を体現し、成果を上げることは後輩の励みにもなります。就職活動や学校生活を各自がんばって、みんなで中村学園を盛り上げていきましょう！

*後期AO入学選考

- ・A日程 エントリー期間：11/21(月)～12/12(月)
選考結果：12/26(月)までに発送
- ・B日程 エントリー期間：1/6(金)～2/27(月)
選考結果：3/10(金)までに発送

*入学選考日

第3回入学選考 12/17(土) 特待・自己推薦・一般
社会人・留学生 各選考

*オープンキャンパス、学校・入試説明会

- ・12/3(土) 13:15-15:30
- ・9(金) 17:00-18:30
- ・1/21(土) 13:15-15:30
- ・2/9(木) 17:00-18:30

「個別相談会」

「保護者説明会」

同時開催

◆夢実現に向かって

強い気持ちを持つことができました

映像・音響デザイン学科1年 櫻井 翼

11月1日、駿府公園で行われた「大道芸ワールドカップのんびり準備」にボランティアとして参加しました。私たちが担当した作業内容は、次のとおりです。

- ・機材の運搬
- ・音響機材の設営
- ・照明機材の設営

その中でも私たちにとって有意義だったのは、照明機材の設営です。なぜなら、私は舞台技術スタッフの中でも照明スタッフになることを目指しているからです。今回はスピーカー等の音響機材の設営しか手伝うことができないのだと考えていたので、このボランティアで照明機材の設営も手伝うことができたのは、とても良い経験になりました。今まで実際に機材を近くで見たり、触ったりしたことはなかったため、今回の経験は、自分の目指す仕事へのより具体的なイメージややりがいに気付くとともに、将来の夢に対する更に強い気持ちを持つキッカケになりました。

この経験を今後の授業や就職活動に活かしていきます。そのためにはどうすべきなのかをしっかりと考え、早め早めに行動に移し、夢を実現したいと思います。



❖「相手の立場を理解し、そして、動けるプロ」を目指します —「第4期実習」を終えて—

介護福祉学科2年 落合 歩美

10月24日から20日間、第4期実習を特別養護老人ホームでさせていただきました。私たちにとって最後の実習となるもので、「2年間の集大成」として前向きに取り組みました。

施設職員の皆様から温かいご指導を受け、貴重な体験を積むことができました。利用者様のケアプランは、第3期実習のときよりもアセスメントができるようになった反面、その方のニーズに近づくことの難しさを痛感しました。今後、ひとりよがりのケアプランにならないように気を付けていかなければならないことを実感しました。利用者様の笑顔を引き出したことは、そのお気持ちに寄り添いながら一緒にご家族宛ての絵葉書を作ったことが挙げられます。

また、利用者様との関係も職員同士の関係も、人間関係の築き方であり、今後、「その方の立場を解ることができて、動けるプロ」を目指したいと思いました。

これから卒業に向けて、更にセンスを磨いていこうと思います。ご指導くださった職員の皆様、利用者様、諸先生方に感謝申し上げます。

❖利用者様の思いや希望を実現するために —「第4期実習」を終えて—

総合福祉学科2年 松下 玲未

私は、ユニット型の特別養護老人ホームで実習を行いました。片麻痺やパーキンソン病など、主に身体介護を必要とする利用者様が多く入所されていました。介護計画の対象者様と関わり最初に思ったことは、「違う利用者様を選べばよかった」「関わりにくい」ということでした。対象者様は、左片麻痺はあるものの、健側の右上下肢での生活動作は可能な方でした。しかし、職員に頼ってしまうことが多く、自分で自分のできることを減らしADL（日常生活動作）の低下につながっていると感じました。そのため、車いすの自操や、残存機能を活かした活動をして欲しいと思い介護計画を立案しました。計画の具体策である自操を行うときに「手伝って」という言葉があり、手伝わずに声かけだけを行うと、「冷たい人だね」など表情も暗くなりました。私は、これが利用者様のためな



のか、こんな表情でいて欲しくないと思いましたが、最後まで楽しく行ってもらうことはできませんでした。

今回の実習を通して、利用者様自身の思いや希望が生活レベルを下げてしまっているとき、その人らしさを尊重しながらも生活レベルを上げていくことが大切なのではないかと思いました。来年度は社会福祉を勉強していくため、これまでの実習で学んだ、利用者様に寄り添い傾聴する姿勢を活かしつつ、また違った観点からも福祉の分野について詳しく学んでいきます。

◎あなたの「軸」は、なんですか

進路室長 橋野 幸男

ライター・編集者として活躍中の八木彩香さんは、大学女子サッカー選手権で「日本一」の経験があります。今回は、彼女のネット連載「スポーツ女子の就活事情」から、一つのケースを紹介します。

ある私大の体育会に所属、選手・キャプテンとして活躍したAさんは、就活では持ち前の「体育会系らしい活力」をアピールし、愛用品の製造元で、かつ、第一志望先だったスポーツ用品メーカーから、早々と内定を獲得することができました。ところが、入社後僅か1年4カ月で退職。そのわけは…、という事例です。以下、引用します。

— その理由を聞いてみると、「するスポーツ」と「支えるスポーツ」の違いを感じたとのこと。確かにAさんはそのスポーツメーカーが好きだったのですが、それはあくまで選手として。現役時代からスポーツをするのは好きでも、観戦するのはあまり好きではなかったそうです。特に達成すべき目標もなく、製品を選手に提供したり、スポーツイベントの裏方に徹したりすることの多い仕事に対して、日々違和感が募っていったのだとか。

どこかに物足りなさを感じたAさんは、商社に転職。現在はバリバリと営業ウーマンとして、会社の第一線で活躍しています。Aさんは、たとえフィールドが違えど、「常に目標を掲げて戦い続けるようなスタイル」が合っていたと言えるでしょう。

就活時の後悔としてAさんは、「スポーツ好きだからスポーツメーカー」という考えは、浅すぎたと思います。すぐに内定を頂けたので、当時は深く考えるタイミングもありませんでした。表面的な好きという感情で終わらずに、『なぜそれが好きなのか』を考えてみてください。今回の転職で気が付いたことは、私が本当に好きなのは、『目に見える結果を残せたときの達成感』だったのだということです』と話してくれました。

いかがでしょうか。Aさんは、順調すぎる(?)就活のせいで、「自分が何にこだわりたいのか」、自分の「軸」を深く考えることがなかったと言えるでしょう。皆さんも、入職後の「ミスマッチ」を避けるため、表面をなぞるだけの「自己理解」や「職種・企業研究」で短絡的な選択をしてしまわないよう、留意してください。まずは「回り道」をきちんと経ることも大切です。